

3月19日の終業式から昨日までの20日間に、コロナ関連の出来事としては、一都三県の緊急事態宣言の解除、そして、大阪府などを対象としたマンボウという新たな蔓延防止等重点措置が発令されるなど、コロナ感染の状況は新たな局面を迎えています。

そんな中、多くの日本人に希望と勇気を与えてくれたニュースがありました。皆さんもテレビ等で、その感動の映像を見たと思います。

それは、白血病から復帰した競泳の池江璃花子選手の東京オリンピック代表内定のニュースです。

100mバタフライの決勝で優勝した直後のインタビューで「つらくても、努力は必ず報われると思った」と涙ながらに語っていた池江選手の姿。その涙に、共感した人も多かったと思います。私もその一人です。彼女は、2年前の2月には、病院で抗がん剤治療などの厳しくつらい治療を行っていました。

1年前の5月に本格的な練習を再開してからは、自分の歩みを「第二の水泳人生」と呼び、トレーニングをしてきたということです。

「努力は必ず報われる」という言葉を 皆さんはこれまで一度は聞いたことがあると思います。池江選が涙ながらに語る「つらくてもしんどくても、努力は必ず報われる」という言葉は、これまで以上に皆さんの心に伝わっていくのではないでしょう。

病に倒れるまでは国内に敵なしといわれ、5種目の日本記録を持っていて「勝ちたいと思わなくても勝っていた」という池江選手を、皆さんは特別だと思いかも知れませんが、才能が有ればあるほどその落差や挫折感は一層大きいものです。

今日皆さんに言いたいこと。それは、「努力は必ず報われる」ことは、誰にでもあてはまるということです。

今日の努力、一週間の努力、一か月間の努力、そして、1年間の努力や高校3年間の努力など、努力の期間はそれぞれ違っても、必ずその努力は裏切ることなく、努力した人を助けてくれる、そして、成長させてくれるものです。

すぐに結果が出る場合もあれば、しばらく時間がかかる場合もあります。だからこそ、焦らず、あきらめず、努力する志を持ち続けることが誰にでも大切なのです。

繰り返します。「努力は必ずいつか報われます。」

最後に、3月の終業式で皆さんに約束した校長からの回答です。

2月の学校評価アンケートで生徒・保護者からあった要望に対して5つのことを先生方と確認しました。

- | | | | |
|---|-----------------|---|----------------|
| 1 | どんな生徒にも公平に | 2 | どんな時も公平に |
| 3 | 生徒への指示・指導は明確適切に | 4 | 無意識な差別があることの自覚 |

5つ目は、施設設備について、購買に電子レンジを1台購入します。

学校は、これからも、生徒や保護者の声に誠意をもって対応していきます。

愛龍高のモットーは、生徒は「いつでも 誰でも 主人公」であってほしいということです。

このモットーと校訓の「親切正直」を忘れずに、どんな時も、どんな生徒にも、公平に接して、先生と生徒が信頼しあえる関係を築いていきます。

以上が始業式の校長からのメッセージです。